



日本学術会議主催学術フォーラム・第十一回防災学術連携シンポジウム

東日本大震災からの十年とこれから

日 時：2021年1月14日(木) 10:00~18:30

場 所：東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂 (JR, 東京メトロ, 御茶ノ水駅下車3分)

主 催：日本学術会議 防災減災学術連携委員会 土木工学・建築学委員会
防災学術連携体(58学会)

参加費：無料

定 員：150名(会場：500名の定員を1/3に制限しています), 1000名(オンライン)

申込み方法：以下のURLをクリックして参加申し込みをお願いします。

<https://ws.formzu.net/fgen/S16396674/>



— 58学会、防災学術連携体の活動 —

“10 Years Memorial and Beyond Great East Japan Earthquake Disaster”
58 Academic Societies and Japan Academic Network for Disaster Reduction

2011年東日本大震災の甚大な被害から十年が過ぎる。この期間にも日本の各地で多くの自然災害が発生した。これらの災害について、多くの学会は調査研究、記録、提言、支援などを続けてきた。大震災後10年を迎えるにあたり、防災学術連携体の各構成学会と防災減災学術連携委員会の委員が、東日本大震災の経験とその後の活動への展開を振り返り、今後の取り組みについて発表する。同時に、防災学術連携体の前身である「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」の30学会共同声明(2012年5月)を振り返り、今後の防災・減災、学会連携について議論する。



プログラム(予定)

- 10:00- 【開会挨拶】 防災学術連携体代表幹事 大友康裕
- 10:05- 【来賓挨拶】 内閣府 防災担当政策統括官 ****
- 10:10- 【開会講演】 日本学術会議第22/23期会長 大西 隆
- 10:20- 【日本学術会議, 防災学術連携体の活動総括】
日本学術会議会員・第三部副部長、
防災学術連携体代表幹事 米田雅子
- 10:30- 【各学会からの発表】(裏面をご覧ください)
- 18:15- 【まとめ】 防災学術連携体運営幹事 和田 章
- 18:25- 【閉会挨拶】 防災学術連携体副代表幹事 森本章倫
- 18:30 【終了】

お問い合わせ先
防災学術連携体事務局 中川寛子
email: office@janet-dr.com

【各学会からの発表】(予定)

10:30-12:10 1. 東日本大震災の全容解明と十年間の復旧・復興の総括

1-01	社会的モニタリングとアーカイブ	日本学術会議社会学委員会東日本大震災後の社会的モニタリングと復興の課題検討分科会	青柳みどり
1-02	災害記録の分野を横断した共有について	横断型基幹科学技術研究団体連合	出口光一郎
1-03	災害から学び、災害に備える	地理情報システム学会	大佛俊泰
1-04	日本海洋学会による震災復興への取り組み	日本海洋学会	神田穰太
1-05	日本計画行政学会における防災・減災と復旧・復興のための活動	日本計画行政学会	山本佳世子
1-06	復興に資する学会の研究実践—被災に寄り添い積極果敢に参与する支援・研究—	日本災害復興学会	大矢根 淳
1-07	宇宙から捉えた東日本大震災の被災状況とその後の復興	日本リモートセンシング学会	伊東明彦
1-08	高田松原津波復興祈念公園の事例から考える震災復興とグリーンインフラ	日本緑化工学会	島田直明
1-09	東日本大震災を踏まえた農業・農村の復興と新たな防災・減災技術	農業農村工学会	鎌田知也
1-10	東日本大震災後の人々の健康	日本災害看護学会	酒井明子

12:10-13:10 休憩

13:10-13:50 2. 原子力発電所事故後の対応と放射能汚染の長期的影響

2-01	福島第一原子力発電所事故後の原子力学会の取り組み	日本原子力学会	中島 健
2-02	日本地震工学会研究委員会の活動：原子力発電所の地震安全の基本原則の提案と実践	日本地震工学会	高田毅士
2-03	原子力関連施設事故に伴う放射性物質の拡散監視・予測技術の強化に向けて	日本気象学会	近藤裕昭
2-04	原発事故による森林の放射能汚染の影響と教訓	日本森林学会	三浦 寛

13:50-14:10 3. 東電福島第一原発事故被災地域の現状と復興

3-01	原子力災害研究と東日本大震災・原子力災害伝承館の今後の取り組み	日本災害情報学会	関谷直也
3-02	福島原発事故と復興政策—10年間の検証—	日本地域経済学会	山川充夫

14:10-14:50 4. 東日本大震災が社会に与えた影響と今後の長期的影響

4-01	震災と原発事故災害からの復興を問い、レジリエントな建築・まちづくりを考える	日本建築学会 久田嘉章・川崎興太・糸長浩司	
4-02	砂防学会における東日本大震災関連の取り組み	砂防学会	小杉賢一郎
4-03	東日本大震災で認識された宅地地盤における地震対策の重要性	地盤工学会	安田 進
4-04	東日本大震災後の古津波堆積物研究の現状と将来展望	日本地質学会	後藤和久

14:50-15:20 5. 自然災害軽減と復旧・復興に関わる提言

5-01	東日本大震災発生後の学校安全の推進に関する研究と実践	日本安全教育学会 佐藤 健・藤岡達也・矢崎良明・戸田芳雄	
5-02	東日本大震災を契機とした災害廃棄物／災害発生土への対応の変化とこれから	日本応用地質学会	登坂博行
5-03	地震地すべりの減災—過去に学び、地域とグローバルの視点で考える	日本地すべり学会	檜垣大助

15:20-15:35 休憩

15:35-16:15 6. わが国の国土・都市計画、まちづくり、人づくりと防災・減災対策

6-01	地域安全学会における東日本大震災への取り組みと今後の展望	地域安全学会	村尾 修
6-02	ランドスケープ科学が担う中長期的復興支援：コミュニティの再建から記憶の継承と新たな国土像の創造まで	日本造園学会	秋田典子
6-03	東日本大震災から10年のハザードマップの発展～それは「ハザードマップを信じるな」から始まった	日本地図学会	宇根 寛
6-04	防災概念の変革期における地理学の役割と戦略	日本地理学会	鈴木康弘

16:15-18:15 7. 今後の防災・減災分野の研究のあり方、諸分野の連携のさらなる推進

7-01	JSCE2020 防災プロジェクトについて	土木学会	目黒公郎
7-02	東日本大震災の火災被害とその後10年間の地震火災研究	日本火災学会	廣井 悠
7-03	東日本大震災以降の日本活断層学会の取り組みと今後の展望	日本活断層学会	宮内崇裕
7-04	機械構造物における地震被害からの規格基準の改正状況と今後の課題	日本機械学会	古屋 治
7-05	立ち止まって考える南海トラフ巨大地震と西日本の地震防災	日本自然災害学会	橋本 学
7-06	この10年間の地震学的研究の進捗と、そこから見えてきた地震像	日本地震学会	小原一成
7-07	日本地球惑星科学連合の巨大地震・激甚災害への取り組み	日本地球惑星科学連合 (JpGU)	松本 淳
7-08	災害対応ロボティクスの現状と課題	日本ロボット学会	松野文俊
7-09	D-NET (災害救援航空機情報共有ネットワーク)の大規模地震における活用の可能性と課題	日本航空宇宙学会	小林啓二
7-10	災害廃棄物対策の歩みと今後に向けた課題、展望	廃棄物資源循環学会	大迫政浩
7-11	COVID-19に対する公衆衛生と医療の関係を展望する	日本公衆衛生学会	高鳥毛敏雄
7-12	新たに認識された防ぎ得る災害死	日本災害医学会	大友康裕